

家族連れに大人気 フルーツパークで自衛隊のはたらく車を展示



自衛隊静岡地方協力本部浜北募集案内所（所長・五十嵐有希1等陸尉）は4月14日（日）、浜松フルーツパーク時の栖（浜松市）で開催された「消防DAY&はたらく車」イベントで広報活動を行った。

このイベントは「楽しみながら消防・防災などを学ぶ」をテーマに開催され、多くの地元民や観光客が訪れた。

自衛隊は、消防、フルーツパーク、NEXCO中日本とともに入園ゲート前ひろばに広報ブースを設置。陸上自衛隊第34普通科連隊（御殿場市）が高機動車と偵察用オートバイを展示し、浜北所はオリジナル缶バッジ作製体験や迷彩服試着体験などを行った。

当日は天候にも恵まれ、自衛隊ブースは長蛇の列ができるほど人気を集めた。子どもも大人も、普段周近に見ることのない自衛隊車両に興味深そうに触れ、迷彩服を試着して笑顔で楽しんでいた。

来場者からは「普通の車と違い、車内が広くて大きいのが印象的だった」「自衛隊のことを知るきっかけになった」といった声が聞かれ、普段接する機会が少ない自衛隊への理解を深めていた。

浜北所は、今後も地域に寄り添い自衛隊の活動や魅力を発信し、積極的に広報活動を行っていく。

高校の体験型企業説明会で新隊員が経験語る

自衛隊静岡地方協力本部三島募集案内所（所長・林正士1等陸尉）は5月1日（水）、三島学園知徳高等学校（長泉町）で開催された体験型合同企業説明会に参加した。

この説明会は、生徒がさまざまな職業の話を聞き、実際に仕事で扱う道具に触れたり仕事を体験することで、職業選択の参考とするため行われたもの。自衛隊を含めた14の企業・団体等が参加し、自衛隊のブースには合わせて25人の生徒が訪れた。

三島の広報官2人のほか、今年3月に同校を卒業し、現在は板妻駐屯地第34普通科連隊（御殿場市）の新隊員教育隊で訓練に励んでいる高野滉大自衛官候補生が講師として参加し、生徒たちに自衛隊の活動や、自衛官になるための教育訓練の大変さ、面白さ、やりがいなどを伝えた。

生徒からもさまざまな質問が寄せられ、「自衛隊に入隊して大変だなと思ったことはありますか」と聞かれると、高野自衛官候補生は「生活環境に慣れること、10キロ行進が大変でした。でも、さまざまな年齢の人と同じ部屋で共同生活をするので、打ち解けるのも早く、今は楽しく生活しています。10キロ行進は大変でしたが、入隊すると自衛官として必要な体力を少しずつつけることができるので、何とか乗り切ることができました」と自らの経験や感じたことを語った。

その後、陸上自衛隊の小型トラックの見学や海上自衛隊の手旗信号体験を行い、生徒たちは「自衛隊の車がかっこいい」「手旗信号、やってみると意外と面白い」と自衛隊の仕事に興味を示していた。

三島所は、今後も各学校と連携を深めながら自衛隊の活動の周知・理解向上を図っていく。

